

様式1 記載事項の説明

1. 申請日

・研究および実験を含む教育を目的として、新年度から圃場実験施設の利用を希望する場合は、原則として前年度の3月20日までに様式1を作成し、圃場実験施設長宛に提出してください。4月第1週に開かれる圃場実験施設運営委員会での審議を経た上で、使用の可否を決定します。

・空き区画の利用申請は随時受け付け、圃場実験施設運営委員会もしくは圃場実験施設利用者懇談会での審議を経た上で、使用の可否を決定します。

・利用目的や対象生物種が異なる場合は別の申請書を作成してください。

2. 申請（利用）責任者

・学部学生・大学院生が利用する場合は、指導教員が利用申請を行ってください。

3. 利用目的

・該当する利用目的にを入れてください。

・研究および実験を含む教育を目的とした利用申請には、様式1をご提出ください。

・実験を含まない教育を目的とした利用申請には、様式2（特別利用申請書）をご提出ください。圃場実験施設運営委員会での審議を経た上で、使用の可否を決定します。

・研究や教育にはこれらの準備期間も含まれます。

4. 対象生物

・予定する対象生物の範囲を記載してください。

・遺伝子組み換え生物、ゲノム編集生物、特定外来生物、動物実験計画申請が必要な生物に該当する生物種を対象とする場合は具体的な種名を記載してください。

5. 対象生物の法令・学内規則における位置づけ

・該当する位置づけにを入れてください。

6. 利用内容

・教育の場合は科目名、開講時期、単位数、受講学生数（履修登録完了前は予想される人数）と具体的な利用内容を記入して下さい。

7. 利用期間

・利用期間が1日程度であれば、開始時刻と終了時刻も併せて記載してください。

8. 利用施設

・該当する利用施設にを入れ、利用を希望する区画や実験室があれば記載してください。複数回答可能です。

9. 添付書類

- ・ 遺伝子組換え実験で圃場を利用する場合、組換え DNA 実験実施許可を証明する書類のコピーを添付してください。
- ・ 特定外来生物を飼育・栽培する場合は、許可申請書もしくは許可証のコピーを添付してください。
- ・ 動物を用いた実験で圃場を利用する場合は、動物実験委員会に提出した動物実験計画申請書のコピーを添付してください。